

AGC旭硝子×藝大 硝子未来史プロジェクト成果報告作品展

Through the Glass

稲垣 美侑
鈴木 沙知子
高原 悠子
田財 あかね
水流 智美
古川 弓子
三瓶 玲奈
李 菲菲

2017年5月15日(月)－20日(土)

10:00－17:00

入場無料

東京藝術大学美術学部絵画棟 1階 Yuga gallery・立体工房

AGC AGC旭硝子

1907年創設、日本で初めて板ガラスの工業化に成功した世界最大手のガラスメーカー。

建築用ガラスをはじめ、自動車用ガラス、液晶ディスプレイ用ガラス、電子機器用部材、化学品やセラミックスの事業分野において多種多様な製品を提供しています。

創業者 岩崎俊彌の「易きになじまず難きにつく」という言葉は、時を超えて継承され、創業110周年を迎える同社の飛躍の原動力となっています。



東京藝術大学・油画

1896年に東京美術学校に西洋画科が設立されて以来、本学においても欧州の同時代の絵画思潮を移入摂取しつつ、日本という土壌での油画の展開が連綿と続けられてきました。

1933年、西洋画科は油画科と改称し、1949年東京藝術大学が設置されると、絵画科油画専攻となり現在に至っています。絵画を中心軸にとり、映像、造形、インスタレーション、そしてそれらを横断する表現の創作研究を行うことができます。卒業生のなかから、世界で活躍する多くの美術家を輩出しています。

硝子未来史

硝子未来史プロジェクト

ガラス素材からフッ素化学技術など、世界をリードするAGC旭硝子の「未来研究」と、人類の感覚や感情を軸とした教育研究機関、東京藝術大学の「美と芸術」を融合させていく共同プロジェクトです。新たな硝子、新たな芸術、新たな価値の創造にむけて、2016年8月より研究会を重ねています。



研究会・作品プラン発表風景

展示会場までのアクセス

東京藝術大学上野キャンパス

美術学部



〒110-8714
東京都台東区上野公園 12-8
東京藝術大学上野キャンパス 美術学部絵画棟

JR上野駅「公園口」より徒歩10分
銀座線・日比谷線 上野駅「7番出口」より徒歩15分
千代田線・根津駅より徒歩約10分 京成電鉄 京成上野駅より徒歩15分

問い合わせ先：油画教員室 050-5525-2144

公開研究会「硝子未来史」

2017年5月18日(木) 15:00-18:00

第1部

ギャラリートーク

展示会場を巡りながら出展作家によるギャラリートーク

第2部

基調講演「硝子未来史」

講師：古川弓子（東京藝術大学美術学部非常勤講師）

ディスカッション テーマ「硝子の可能性」

パネリスト：AGC 旭硝子 研究員

司会進行：伊東史栄（AGC 旭硝子）

水流智美（東京藝術大学）

・今回のプロジェクトを通じて感じたこと

・素材に対する気付き

協賛

助成



東京藝術大学ダイバーシティ推進室
文部科学省 科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）